






工作作業標準書		ウイング、油圧ユニットオイル交換				サービス課	
管理番号	M107-S	機種	ウイング(ウイング全般)				
関連Q看板		区分	写真のユニットは永興製				
作成年月	2009年5月30日	工程					
No	写真またはイメージ図、注意事項・ポイント		作業内容及び必要工具				記号
1	 <p>注:ユニットのゲージ確認はウイングを閉めた状態で確認してください。</p>		<p>作動不良を起した(ウイングが上がりきらない)            オイル量が少ない            などの不具合が起きたときの油圧ユニットのオイル交換について提示します。</p> <p>また、ユニット内のオイルを点検した場合にオイルが黒い、粘度がない、なども同様です。</p>				
2			<p>用意するものは</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>六角レンチ(TONE 8)M10mm用</li> <li>ペール缶、(底が深い)皿(廃オイル受け用として)など</li> <li>ウエス</li> <li>丸パイプ(21φ程度、ボルトが固い場合)</li> <li>オイル注入用器具(オイルポンプ、ジョウゴ)</li> <li>交換用オイル(作動油(タービン油ISO-VG22)相当)</li> </ol>				
3	 <p>注:ウイングを必ず閉めた状態で作業してください。開いた状態で行うとオイルがオーバーフローする可能性があります。</p>		<p>ウイングを閉めた状態にして下さい。</p> 				
△ 1			△ 2				
符号	年月日	記事	符号	年月日	記事		

工作作業標準書		ウイング、油圧ユニットオイル交換				サービス課	
管理番号	M107-S	機種	ウイング(ウイング全般)				
関連Q看板		区分	写真のユニットは永興製				
作成年月	2009年5月30日	工程					
No	写真またはイメージ図、注意事項・ポイント		作業内容及び必要工具			記号	
4	 <p>上記、図は例です。</p>		<p>キャブ内のウイングSWをOFFにして下さい。</p> <p>(注:たいがいエンジンキーと連動になっています、念のため、エンジンキーをの位置にして下さい。)</p> 				
5			<p>左図のとおり、油圧ユニットの下側、オイルタンクのドレンプラグを六角レンチ(TONE8)M10mm用にて緩めます。</p> <p>固い場合は、丸パイプを利用して、緩めて下さい。</p>				
6	 <p>廃油は産業廃棄物になります。          所定の廃棄場所が無い場合はガソリンスタンドで引き取ってもらってください。</p>		<p>プラグを抜いてペール缶や皿(廃オイル受け)などに廃油を受けます。</p>				
△1			△2				
符号	年月日	記事	符号	年月日	記事		

工作作業標準書		ウイング、油圧ユニットオイル交換				サービス課	
管理番号	M107-S	機種	ウイング(ウイング全般)				
関連Q看板		区分	写真のユニットは永興製				
作成年月	2009年5月30日	工程					
No	写真またはイメージ図、注意事項・ポイント		作業内容及び必要工具			記号	
7	 <p>六角レンチの締め付けトルクは16～26N・m (1.7～2.7Kg・m)</p>		<p>抜いたら、油圧ユニットの下側、オイルタンクのドレンプラグを六角レンチ(TONE8)M10mm用にて締めます。</p>				
8			<p>左図のとおり、油圧ユニットの上側、オイルタンクのドレンプラグを給油口の六角レンチ(TONE8)M10mm用にて緩めます。</p> <p>固い場合は、丸パイプを利用して、緩めて下さい。</p>				
9	 <p>使用するオイルは、ISO-VG22 相当 寒冷地では、VG10～15を使用して下さい。 航空機用は使用しないでください。</p>		<p>ジョウゴでオイルを入れてください。 約2.5リットル入ります。 また、泥や砂、ごみなどがオイルに混入しないように気をつけてください。異物が混入しますと作動不良などのトラブルの原因になります。</p>			Q	
△1			△2				
符号	年月日	記事	符号	年月日	記事		

工作作業標準書		ウイング、油圧ユニットオイル交換				サービス課	
管理番号	M107-S	機種	ウイング(ウイング全般)				
関連Q看板		区分	写真のユニットは永興製				
作成年月	2009年5月30日	工程					
No	写真またはイメージ図、注意事項・ポイント		作業内容及び必要工具			記号	
10			<p>オイルポンプも有効な手段です。</p> <p>ゲージを確認しながら、入れられます。</p>				
11			<p>下図のとおりゲージの赤い丸をやや超えたら、左図のとおり、油圧ユニットの上側、オイルタンクのドレンプラグを給油口の六角レンチ(TONE8) M10mm用にてやや、緩めに締めます。</p>			Q	
			 <p>やや多いくらい</p>				
12	 <p>上記、図は例です。</p>		<p>キャブ内のウイングSWをONにして下さい。</p> <p>(注:たいがいエンジンキーと連動になっています、念のため、エンジンキーをの位置にして下さい。)</p>				
							
1	年月日	記事	2	年月日	記事		
符号	年月日	記事	符号	年月日	記事		

工作作業標準書		ウイング、油圧ユニットオイル交換				サービス課	
管理番号	M107-S	機種	ウイング(ウイング全般)				
関連Q看板		区分	01タイプ、ユニットは				
作成年月	2009年5月30日	工程					
No	写真またはイメージ図、注意事項・ポイント	作業内容及び必要工具				記号	
13		<p>ウイングを開く・閉めるの操作を左右、各5回くらい行ってください。</p>					
							
14		<p>ウイングを閉めた状態で、再度ゲージを確認して下さい。(下記は不足例です。この場合再度給油を行ってください)</p> <p>良ければ、左図のとおり油圧ユニットの上側、オイルタンクのドレンプラグを給油口の六角レンチM10にて完全に締めてください。</p>					
							
15							
1			2				
符号	年月日	記事	符号	年月日	記事		